事前評価個表

| 事業名 | 森林環境 | 保全整備事業(国有林) | 事業計画期間 | 平成20年度~平成24年度(5年間) | |
|--------------------|------|---|---|--|--|
| 事業実施地区名 (都道府県名) | | ^(あき) 安芸森林計画区 (高知県) | 事業実施主体 | 四国森林管理局 安芸森林管理署 | |
| 事業の概要・目的 | | 域であり、国有林は安 対象としている。 当計画区の立地条件 持、保全及び水源かん い。 本事業は、これらの 等の保育作業、及び材 | 当計画区の立地条件等(奥地林・里山林)は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高 | | |
| | | 主な事業内容 | 森林整備 更 保 路網整備 開 | 至新面積 343 ha 是育面積 2, 493 ha 引設延長 17.0 Km 取良延長 8.8 Km | |
| 費用対効果分析 | | 総費用(C) | | 2, 181, 777 千円 | |
| | | 総 便 益 (B) | 水源かん養便益 | 2,005,756 千円 | |
| | | | 山地保全便益 | 462,616 千円 | |
| | | | 環境保全便益 | 146, 263 千円 | |
| | | | 木材生産便益 | 1,642,435 千円 | |
| | | | 森林整備経費縮減 | 花等便益 2,478,942 千円 | |
| | | | 計 | 6, 736, 012 千円 | |
| | | 分析結果(B/C) | | 3. 09 | |
| | | 育成段階にじめ、本のでは、本のでは、本のでは、 国有林のでは、 国有林の性を、 当を でいまる。 一切 を は 要用対効 が が ない でいまれる が が が が が が が が が が が が が が が が が が が | ・必要性: 森林の有する多面的機能を健全に維持発揮させるため、森林の育成段階に応じた施業を実施して、森林に対する地域の要請に応じられると共に、森林を将来の世代に健全な形で引き継いでいくため、本事業の実施が必要である。 ・有効性: 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を、踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能を十分発揮させるに有効な事業と認められる。 ・効率性: 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。 | | |